

7. 伊賀保健福祉事務所の取組

いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会

1 平成21年度の取組

(1) いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会の開催

住民が健康でいきいきと生活できる「長寿地域・伊賀」を目指し、特に働く世代への健康づくりの輪を広げていくために産業保健関係者等の参画を得て、健康づくり・公衆衛生に関する共通認識の向上や実践に向けた情報交換、連携の構築等の推進に関する懇話会を開催しました。

開催日：平成21年11月26日、3月25日の2回 委員数：17名

延出席者数：21名

(2) 研修会開催

開催日：平成21年11月26日、

場 所：伊賀庁舎 会議室

参加者数：33名

内容：講演「新型インフルエンザについて」

講師 伊賀保健所長 佐甲 隆

2 平成21年度の成果

検討会の開催で、各委員所属団体の活動など情報共有を図り、地域保健と産業保健の連携を図ってきました。「長寿地域・伊賀」をめざして各委員所属団体で取り組むことの必要性について共通認識が図れました。具体的な取組に向けた協働意識の醸成が課題となります。

3 平成22年度の方針、実施計画

より幅広く県民の健康づくりに取り組むため、地域保健と産業保健関係者を含めた懇話会を開催し、生涯を通じた健康づくりを目指します。

懇話会において健康づくり情報の共有化と地域への発信をしていきます。

働く世代に健康づくりの輪をひろげていくため、職域保健との連携強化を図ります。

栄養・食生活

1 平成21年度の取組

(1) 食事バランスガイド地域協働啓発

エネルギーの過剰摂取や栄養の偏りを防ぐため、食事バランスガイドの活用に関する研修会を管内の食活動団体等のリーダーを対象に開催するとともに、多様な主体と協働し、住民への啓発を実施しました。

リーダー研修会

ア 平成21年9月3日 食生活改善推進員リーダー 20名

イ	平成 21 年 11 月 24 日	木の芽会会員	45 名
協働啓発事業			
ア	平成 21 年 7 月 25 日	キッズサッカー教室	約 25 名
イ	平成 21 年 10 月 9 日	コープみえくらしの活動交流会	約 100 名
ウ	平成 21 年 10 月 12 日	名張市体育・健康フェスタ	約 350 名

(2)朝食欠食幼児ゼロ推進事業

幼児期の朝食欠食を防ぎ、幼児期からの健康的な食生活の実践を促すため、地域の食活動リーダーへの研修会を開催するとともに、保育所等に啓発資材の提供など健康教育の支援を行いました。

研修会の開催

ア	平成 21 年 6 月 23 日	木の芽会	40 名
イ	平成 21 年 7 月 2 日	伊賀地区食改協	20 名

健康教育支援

- ア キッズサッカー教室における食育 三重県サッカー協会と協働
サッカー教室開催時、保護者に食育講話を実施 9 回 延べ 95 名
- イ あさごはん、食生活指針（子供版）、子育て世代の食事バランスガイド等、啓発資材の提供や助言等を 3 団体（機関）に提供しました。

2 平成 21 年度の成果

食事バランスガイド啓発や幼児の朝食欠食予防など具体的な活動内容を通じて、県民が健康的な食習慣を確立できるよう、ボランティアの養成・育成、専門職種とのネットワークづくりの働きかけができました。

3 平成 21 年度の方針、実施計画

生涯を通じて健康的な食生活をおくるため、望ましい食習慣の定着を目標に市、ボランティア、関係職種との連携を深め、食環境整備に取り組んでいきます。また、三重県サッカー協会等との協働を通じて食育の実践に向けた支援をしていきます。

休養・こころの健康づくり

1 平成 21 年度の取組

自殺予防を含めたこころの健康問題についての正しい理解の普及啓発を図り、関係機関と連携を図りながら共に支え合い安心して生活できる地域づくりを目指すこと、市が実施するこころの健康づくり対策の側面的支援を行い、市におけるメンタルヘルス事業の推進を図ることを目的に事業を実施しました。

1) 精神保健福祉従事者研修会の開催

津庁舎を開催場所として、津保健福祉事務所、こころの健康センターとその他保健福祉事務所が 3 回共同で実施した。

開催日 平成21年7月31日、8月7日、10月9日

内容 積極的傾聴の知識と体験

メンタルヘルス技法の知識と体験（交流分析等）
精神障害者等ソーシャルワーク技術
参加者数 延べ 119名（伊賀 13名）

2) こころの健康づくりについての研修会等の開催

地域住民等が、自殺予防を含めたこころの健康問題について、正しく理解し、セルフケアできるようにすることを目的に研修会等を開催しました。

こころの健康づくり研修会の開催

平成22年2月18日（木）一般市民、行政、関係機関職員等 103名

健康まつり等での啓発

平成21年10月12日（月） 名張市体育・健康フェスタ（名張市総合体育館）にてこころの健康づくり、自殺予防等の、各種パンフレット、啓発グッズを配布しました。

保健所ブースへの来場者等 約 350名

3) 管内市保健師との連携

地域でのこころの健康づくり事業を推進するためには、各市関係者との共通理解や連携が必要であり、市が実施するこころの健康づくり対策への側面的支援を行い、市におけるメンタルヘルス事業の推進を図るために随時情報共有しました。

4) 自殺予防対策

自殺が個人的な問題としてのみ捉えられるものではなく、その背景には、様々な社会的な要因があることをふまえ、市民や関係機関に対して命の大切さについて理解を深めることや、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及・啓発を行いました。

市民への自殺予防の啓発

- ・こころの健康づくり研修会で自殺の現状、予防、対策等についてパンフレット、啓発グッズなど活用し啓発。
- ・自殺予防週間の啓発・庁舎内に啓発資料等設置、「自殺予防週間」のぼりを掲げ啓発（8/21～9/17）
- ・世界自殺予防デー街頭啓発実施（9/10）
名張駅周辺にて啓発ティッシュ、ウエットティッシュ 600 個配布
- ・管内課長会議、三重大学医学部看護学科及び三重県立看護大学、鈴鹿医療科学大学生に自殺予防対策の説明
- ・伊賀保健福祉事務所HPに自殺予防週間記載掲載し、自殺予防の啓発実施
- ・名張市の体育健康フェスタで自殺予防について啓発。
自殺予防に関するパネル展示、自死遺族の集いパンフレット、自殺予防統一標語入りティッシュ等配布。
- 企業のイベント参加による自殺予防等こころの健康づくりの啓発
- ・2009 コープみえ「商品くらしの交流会」で保健所ブース設置
上野フレックスホテルにて自殺予防、メンタルヘルス、食事、運動など健康づくりについての

啓発パンフレット配布 参加者 約 70名

- ・管内企業産業医との情報交換
- その他
- ・内閣府からの自殺に関する情報を管内各保健師等に情報提供

2 平成21年度の成果

今年度も年度当初に各市関係者との連絡会議を開催し、こころの健康づくり事業についての目的や事業の推進について意見交換を行ったことで、連携しながら協働で事業を実施することができた。

3 平成22年度の方針、実施計画

自殺予防を含めたこころの健康問題についての正しい知識の普及啓発を図り、関係機関と連携を図りながら、共に支え合い安心して生活できる地域づくりを目指していきます。

各市でこころの健康づくり事業が推進されるよう、連携しながら協働で事業を実施していきます。